



2025  
vol.7

# 赤十字しが



もっと伝えたい、滋賀の赤十字。

## Contents

しがの赤十字活動レポート～令和6年度滋賀県支部この1年～  
令和6年度日本赤十字社滋賀県支部の決算のご報告  
滋賀県支部が実施する講習のご案内  
赤十字が支援する救援物資のご紹介

SHIGA  
**130th**  
Anniversary



日赤滋賀県支部  
WEBサイトは  
こちら



日赤滋賀県支部公式  
Instagramは  
こちら

# しがの赤十字活動レポート

5/6  
(月・木)

赤十字活動を体験

## 「キッズ本格おしごと体験」にブースを出展

イオンモール草津で開催されたイベント「キッズ本格おしごと体験」に参加しました。

心肺蘇生法体験、手作り防災グッズ体験、赤十字救護服・看護実習衣の試着体験などのブースを設け、多くの子どもたちに赤十字が行っている活動を体験していただきました。

参加した保護者からは、「災害が身近にある中、防災や救命のことを子どもと一緒に考えるよい機会になりました。」との感想が寄せられました。



7/1  
(月)

心をひとつに被災者へ寄り添う

## 米原市伊吹地区土砂災害での炊き出し活動

米原市赤十字奉仕団伊吹班は、災害発生後すぐに団員内で連絡を取り合い、行政や社会福祉協議会と協力して避難所設営の手伝いと翌日の炊き出し実施に向けた準備を開始しました。

炊き出しでは、温かいものを食べてもらいたいという思いから、うどんや炊き込みご飯を提供しました。班長の高木喜三子さんは、「それぞれの団員が、今自分たちができることは何かを考え実行できたことがよかった。」と述べられました。



7/2  
(火)

普段からの備えの大切さを学ぶ

## 東近江市立五個荘中学校で防災学習を実施

普段からの災害に対する備えの重要性を学んでもらうために「地震への備え」をテーマとした講義や地元赤十字奉仕団委員長の体験談、炊き出しなどの防災学習を実施しました。

ハイゼックス炊飯袋による炊き出し訓練や心肺蘇生法、AEDの使い方など、普段から災害に備えることの大切さを感じてもらいました。



8/3  
(土)

自然水域での知識と技術の学びを深める

## 赤十字水上安全法救助員Ⅱ養成講習会を開催

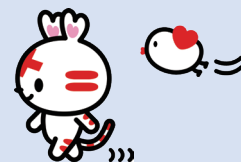
休暇村近江八幡の休暇村ホールと宮ヶ浜水泳場で開催した講習は、自然水域での救助方法や危険回避について学び、水の事故からいのちを守る技術を習得するものです。

赤十字は、悲しい水の事故を少しでも減らすため、全国各地で講習会を開催しています。



8/4  
(日)





8/6(火)

参加者みんながリーダーに

## 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを開催

自然体験学習センター森の未来館(栗東市)で開催したこの研修は、集団生活体験を通して自ら「気づき・考え・実行する」力を、身につけることを目的としています。

今回は、5年ぶりに宿泊を伴うプログラムを再開しました。子どもたちは、共に過ごす中で活発に意見を交わし、楽しみながら多くのことを学びました。



10/20(日)

災害救護体制の一層の強化をめざして

## 滋賀県総合防災訓練に参加

彦根市内で開催された滋賀県総合防災訓練に大津赤十字病院と長浜赤十字病院の救護班が参加しました。

救護班は、現場救護所で消防隊員から救助された傷病者の症状確認や手当てなどを行いました。訓練終了後には様々な反省や意見交換があり、実りのある訓練となりました。

今後もこのような訓練を通して、関係機関との連携を図り、災害救護体制の一層の強化に取り組んでいきます。



11/3(日・祝)

経済団体と連携し、赤十字活動を発信

## しがわーくフェスタ2024に赤十字体験ブースを出展

YMITアリーナ(草津市)で開催された滋賀県中小企業団体中央会、同青年中央会主催のお仕事体験・学習イベント「しがわーくフェスタ2024」に出展しました。AEDや無線通信、防災グッズ作りなどを通じて、200名以上の親子連れの皆さまに赤十字が日頃行っている活動を体験していただきました。

防災グッズ作りを体験した参加者からは、「身近なものが災害時に役立つことを知りました。」との感想が寄せられました。



11/27(水)

来て、見て、体験

## 「赤十字体験バス」を開催

自治会、町内会の役員をはじめ、地域コミュニティリーダーの皆さまを対象に、日頃の赤十字活動をもっと身近に感じてもらうと、「赤十字体験バス」を開催しました。イベントは、赤十字が各地で展開している防災学習をはじめ、災害時の非常食作りなどの体験を通じて赤十字への理解を深めてもらうのがねらいです。

参加者からは「災害、防災に対する認識がより深まった。日赤について知らないことが多く勉強になった。」との感想が寄せられました。



令和6年度

日本赤十字社  
滋賀県支部

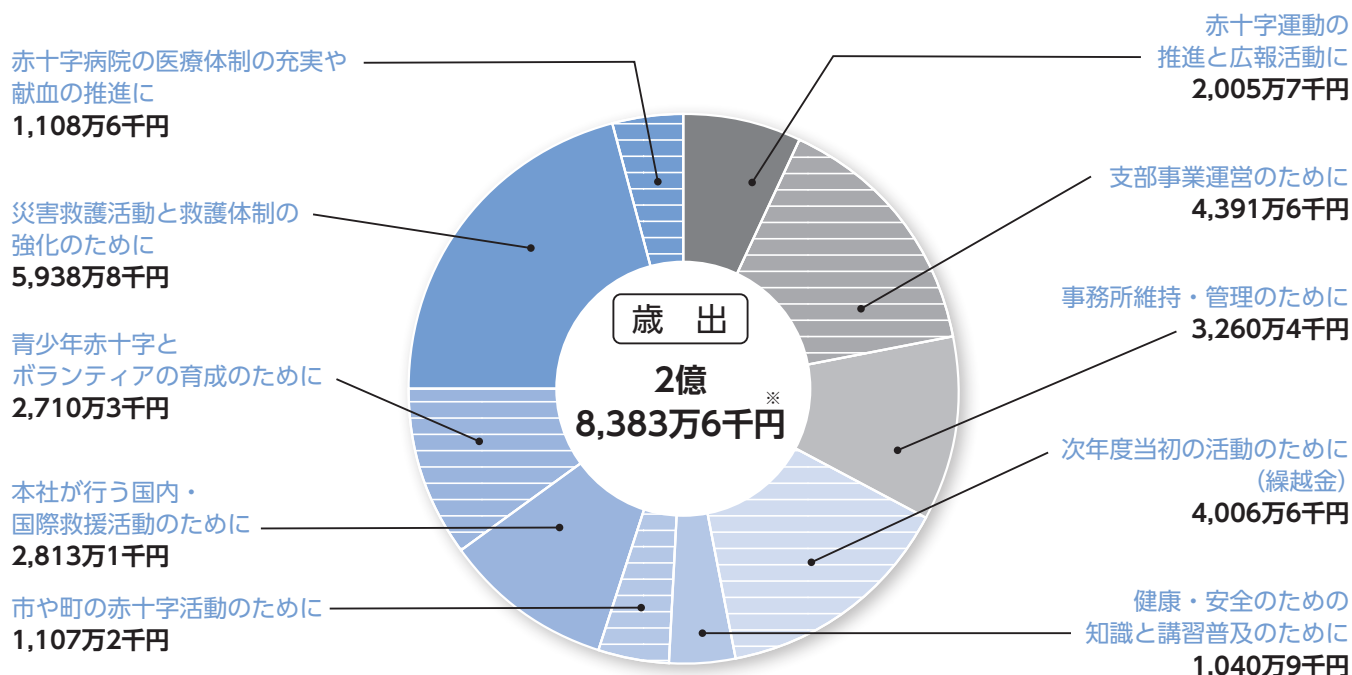
# 決算のご報告

歳入

活動資金収入 …… 1億9,510万1千円

その他の収入 …… 8,873万5千円

歳入合計 …… 2億8,383万6千円



※ 千円未満を切り捨てているため、円グラフの合計金額と各項目の合計金額は一致しません

## 活動資金ご協力法人・団体のご紹介

日本赤十字社滋賀県支部の活動は、皆さまのご支援に支えられています。  
活動資金のご協力、誠にありがとうございます。

- 株式会社セレマ
- 株式会社ジーテクト
- 有限会社三王都市開発
- 一般財団法人滋賀県民間福祉振興財団
- 株式会社東洋石創
- 花文造園土木株式会社
- ルミフィールドジャパン株式会社
- 株式会社イチダ
- 株式会社斉戸電気商会
- 堅田電機株式会社
- 西大津耳鼻咽喉科
- 株式会社大島居製作所
- 熊谷電工株式会社
- 有限会社巨東電設
- 株式会社ヤサカ
- 有限会社岡田工業
- 株式会社久木野工務店
- 株式会社西寄組
- 滋賀県税理士協同組合
- レントリー滋賀株式会社
- 医療法人宮本クリニック
- 株式会社湖東総合システム
- 株式会社佐藤医科器械製作所
- 近江ユニキャリア販売株式会社
- 滋賀県中小企業青年中央会
- トヨタモビリティ滋賀株式会社
- 株式会社エクシード
- アクア株式会社
- 厨房機器センターエコプラン
- 株式会社サンミュージック
- 春山行政書士事務所
- 医療法人藤樹会滋賀里病院
- 島津プレジジョンテクノロジー株式会社
- スパリゾート雄琴あがりゃんせ
- 株式会社クリスタル光学
- 国際ソロプチミスト大津

※令和6年度中に5万円以上の活動資金をお寄せいただき、掲載をご了承いただいた法人・団体のみ掲載しております。(敬称略・順不同)  
上記以外に39社・団体の皆さまからもご支援をいただきました。

## 滋賀県支部が 実施する 講習のご案内

日本赤十字社は、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、「救急法」「水上安全法」「幼児安全法」および「健康生活支援講習」の4種類の講習を行っています。



### 救急法

#### 家族が突然倒れた！何かできることは？

日常生活における事故防止や手当ての基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AEDを用いた電気ショック、止血の仕方といった応急手当の方法などの知識と技術を学びます。



### 水上 安全法

#### 水について正しく学び、事故を防ぐ！

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学びます。



### 幼児 安全法

#### 大切に育てるための手当てを学ぼう！

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当て、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当てなどの知識と技術を学びます。



### 健康生活 支援講習

#### 人生100年時代！いつまでも健康でいよう

誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術を学びます。

### 担 当 者 の 声

日本赤十字社滋賀県支部では、社会の多様なニーズや受講者のライフステージに応じて、救急法をはじめとした4つの各種講習を行っています。

身近な人を救うため、とっさの手当てや日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を通して、地域の人々が支え合い、安全安心な暮らしができるよう努めています。

お住いの自治会・町内会など、ご希望に応じて赤十字の講師を派遣することもできますので、皆さまもぜひ、赤十字の講習を受講してみませんか。



日本赤十字社滋賀県支部

事業推進課長 渡邊 悠介

詳細については、日本赤十字社滋賀県支部のホームページをご覧ください。当支部までお問い合わせください。



講習会に  
ついては  
こちら



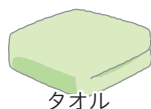


## \\ 赤十字が支援する // 救援物資のご紹介



日本赤十字社が被災地にお届けする救援物資は、人間の生活を営む上で大切な要素「衣食住」の「住」の部分の役割を担っています。災害などの緊急時、最低限の生活が出来るように支援する救援物資について、ご紹介します。

### 緊急セット



タオル



ウェットティッシュ  
ポケットティッシュ



コップ



軍手  
ゴム手袋



鉛筆  
メモ用紙



スプーン  
フォークセット



物干しロープ  
洗濯ばさみ



救急絆創膏  
弾力包帯



不織布ガーゼ  
不織布マスク



歯ブラシ



毛抜き



携帯ラジオ



懐中電灯



ビニール袋



ブックレット  
(災害時に気をつけたい症状)

#### ご利用者の声

- 慌てて避難しているので、衛生用品はとても助かった。
- 水が出なかったので、ウェットティッシュはとても助かった。
- タオルや歯磨きセットなど細々したものはとても役に立った。



60代女性



### 安眠セット



外袋



キャンピング  
マット



枕



ブックレット  
(災害時に気をつけたい症状)



靴下



耳栓



アイマスク

#### ご利用者の声

避難所では固いフロアで寝泊まりしていたため、なかなか安眠できなかったが、マットがあって助かった。



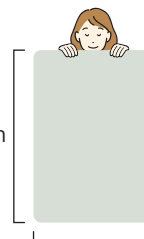
60代男性

### 毛布



2m

1.4m



#### ご利用者の声

寒かったためダウン等を着こんで寝ていたが、配布された毛布のおかげで暖かった。



60代女性



日本赤十字社 滋賀県支部  
Japanese Red Cross Society

〒520-0044 大津市京町4丁目3番38号  
TEL 077-522-6758 FAX 077-523-4502  
<https://www.jrc.or.jp/chapter/shiga/>

